



ハンドスロットル・キット

Workman® HDX 汎用作業車 モデル 07383, 07384, 07384TC, 07386
および 07386TC 用

モデル番号07388

取り付け要領

安全について

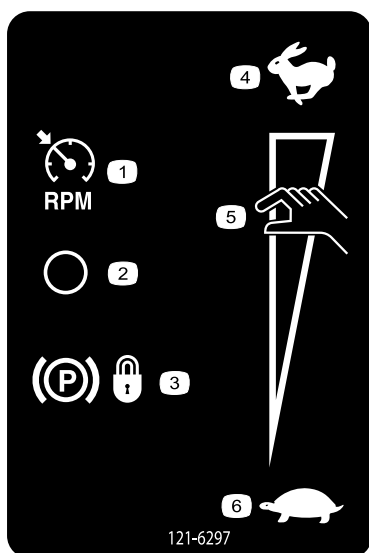
▲ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

安全ラベルと指示ラベル

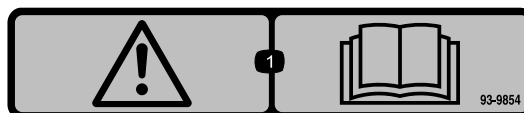


以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



121-6297

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. タコメータ | 4. 高速 |
| 2. OFF | 5. ハンドスロットル |
| 3. 駐車ブレーキロック | 6. 低速 |



93-9854

1. 警告オペレーターズマニュアルを読むこと。



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	キット取り付けの準備
2	必要なパーツはありません。	-	フードを外す。
3	必要なパーツはありません。	-	中央コンソールパネルと運転席を外す。
4	必要なパーツはありません。	-	冷却液タンク、ROPSシールド、運転席のシュラウドを外す。
5	駐車ブレーキスイッチ ねじ, 六角ワッシャヘッド10-24 x 1/2 インチ	1 2	ブレーキスイッチを取り付けます。
6	リレー ボルト, 六角ワッシャヘッド1/4 x 5/8 インチ	3 2	リレーを取り付けます。
7	ハンドスロットル・ブラケット フランジボルト5/16 x 1 インチ フランジナット (5/16 インチ)	1 4 4	ハンドスロットル・ブラケットを取り付けます。
8	ハンドスロットル ボルト10-24 x 5/8 インチ ナット, 鋸歯付き10-32 モードスイッチ	1 2 2 1	電子スロットルとモードスイッチを取り付けます。
9	ワイヤハーネス ケーブルタイ	1 5	ワイヤハーネスを取付けます。
10	必要なパーツはありません。	-	運転席シュラウド、POPSシールド、冷却液タンクを取り付ける。
11	必要なパーツはありません。	-	中央コンソールパネルと運転席を取り付ける。
12	必要なパーツはありません。	-	バッテリーを接続する。
13	必要なパーツはありません。	-	荷台を降下させる。
14	必要なパーツはありません。	-	フードを取り付ける。
15	必要なパーツはありません。	-	ハンドスロットル・キットのテストを行う。

1

キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に停車して駐車ブレーキを掛ける。
2. 荷台を装着している場合には以下の作業を行う
 - A. 昇降シリンダが完全に伸びた状態になるまで荷台を上昇させるオペレーターズマニュアルを参照。
 - B. ROPS パネルの後ろについている保管用ブラケットから荷台サポート安全サポートを取り外す [図 1](#)。

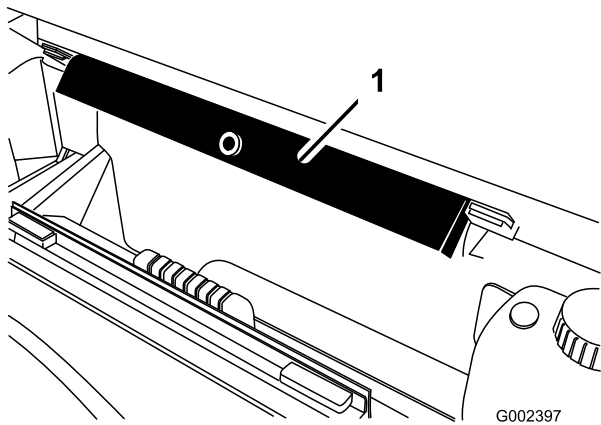


図 1

1. 荷台安全サポート

- C. サポートをシリンダロッドにはめ込み、サポートの端部でシリンダバレルの端とシリンダロッドの端を確実に支える [図 2](#)。

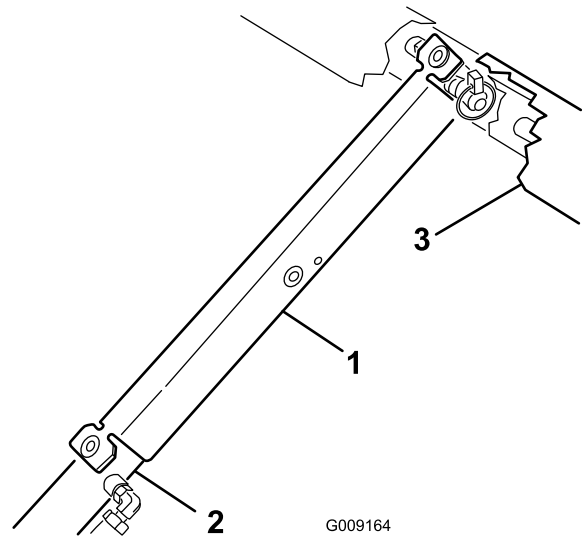


図 2

1. 安全サポート
2. シリンダバレル
3. 荷台

3. エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取る。
4. 以下の要領でバッテリーの接続を解除する
 - A. バッテリーカバーを握り込んで、タブをバッテリーベースから外す [図 3](#)。

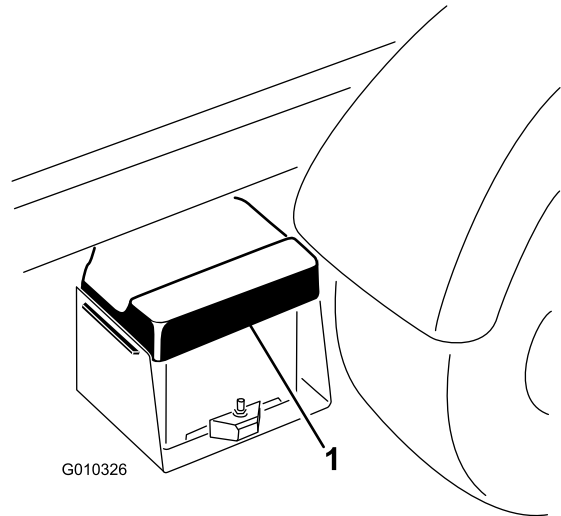


図 3

- B. バッテリーベースからバッテリーを取り外す [図 3](#)。
- C. プラスのバッテリー端子からケーブルを外す [図 4](#)。

注 外したケーブルの端子部分がバッテリー端子に触れないように十分注意してください。

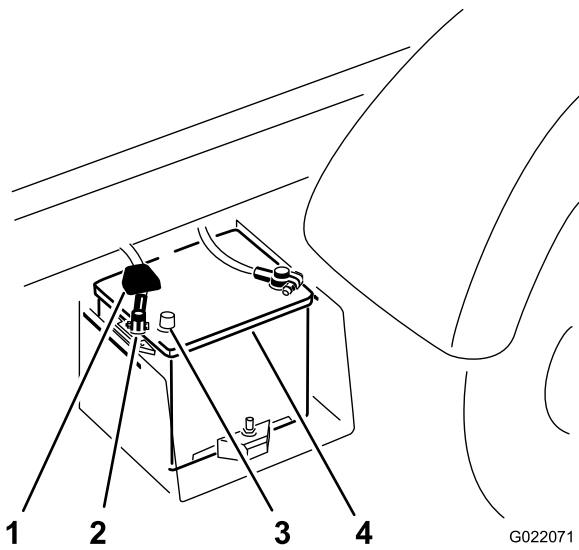


図 4

- | | |
|----------|------------|
| 1. 端子カバー | 3. バッテリー端子 |
| 2. プラス端子 | 4. バッテリー |

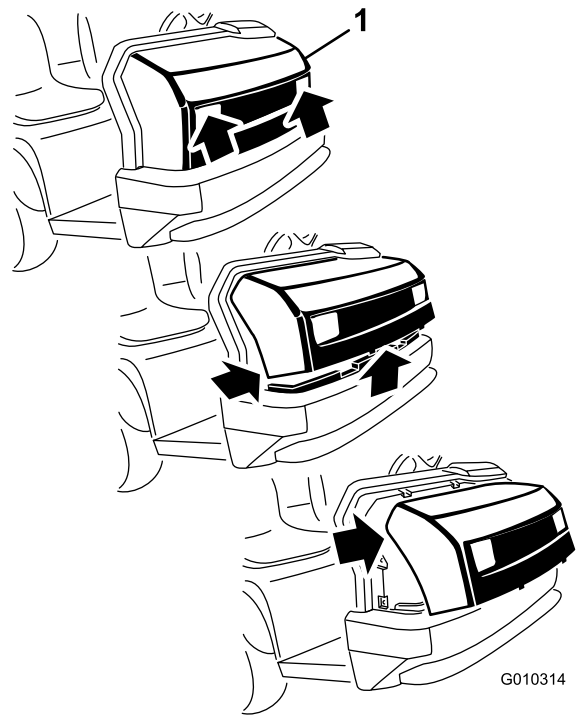


図 5

1. フード

2. フードの下側を手前に持ち上げてから下に引っ張り、上側の取り付けタブをフレームの穴から外す 図 5。
3. フードの上側を手前に倒し、ヘッドライトからワイヤコネクタを抜く 図 5。
4. フードを外す。

2

フードを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. ヘッドライトの開口部でフードをつかみ、フードを持ち上げて、下側の取り付けタブをバンパーのスロットから外す 図 5。

3

中央コンソールパネルと運転席を外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 荷台を装着している場合には、これを取り外す。取り外し手順の詳細についてはワークマンのオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. コンソールについている各種レバーおよびギアシフト・レバーについているノブを全部外す [図6](#)

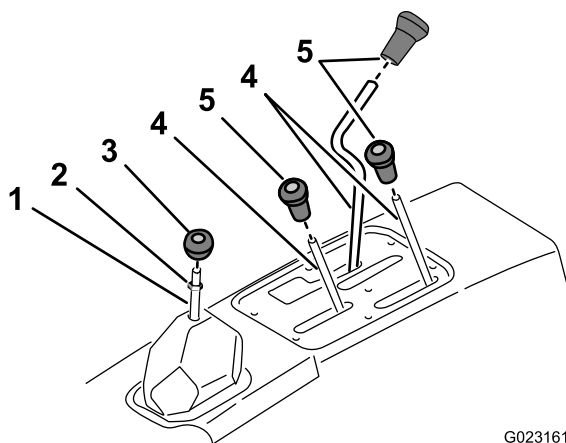
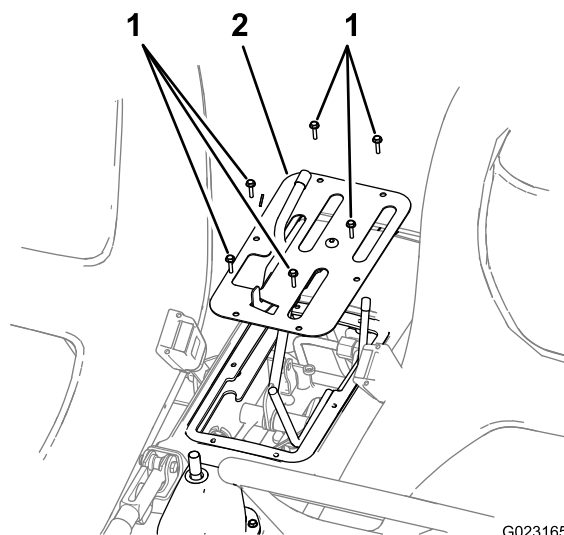


図6

G023161

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. シフターのロッド | 4. コントロールロッド |
| 2. ジャムナット | 5. コントロールノブ |
| 3. シフターのハンドル | |

3. ギアシフトレバーからジャムナットを外す [図6](#)。
4. 中央コンソールのカバープレートの外側エッジ部をシャーシに固定しているねじ6本を外して、カバープレートを取り外す [図7](#)。

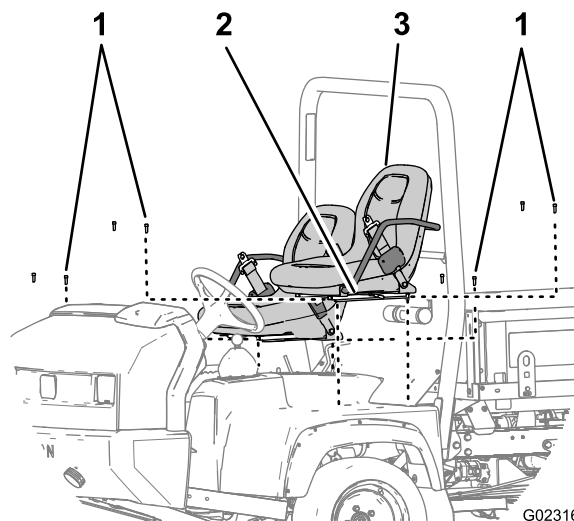


G023165

図7

- | | |
|-------|------------|
| 1. ねじ | 2. カバープレート |
|-------|------------|

5. 座席レールをシャーシに固定しているソケットヘッド・ボルト8本を外して運転席を取り外す [図8](#)。



G023164

図8

- | | |
|---------------|--------|
| 1. ソケットヘッドボルト | 3. 運転席 |
| 2. シートレール | |

4

冷却液タンク、ROPSシールド、 運転席のシュラウドを外す

必要なパーツはありません。

冷却液タンクを取り外す

1. 冷却液タンクを持ち上げて、ROPSシールドのサポートブラケットから取り外す [図 9](#)。

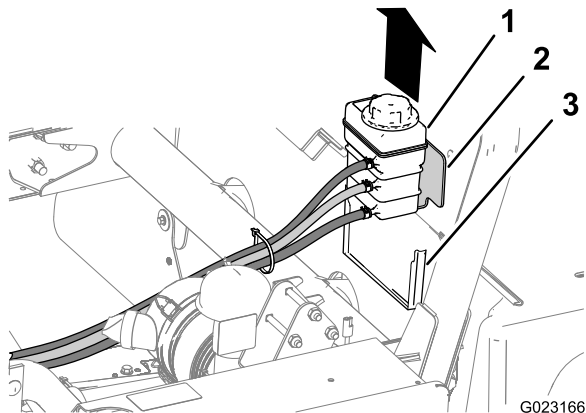


図 9

1. 冷却液タンク
2. 例薬液タンクのブラケット
3. サポートブラケット

2. 冷却液タンクを、エンジン/シャーシの上に真っ直ぐ立たせて置く。

ROPSパネルを外す

1. ROPSバーについているブラケットにROPSパネルを固定しているキャリッジボルト6本とナット6個を取り外す [図 10](#)。

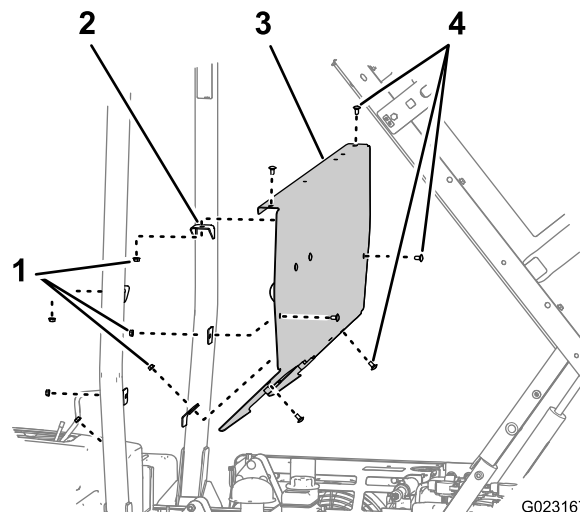


図 10

1. ナット
2. 取り付けブラケットROPS
3. ROPSパネル
4. キャリッジボルト

2. 機体からROPSパネルを外す [図 10](#)。

運転席シュラウドを取り外す

1. 駐車ブレーキが掛かっていることを確認する [図 11](#)。

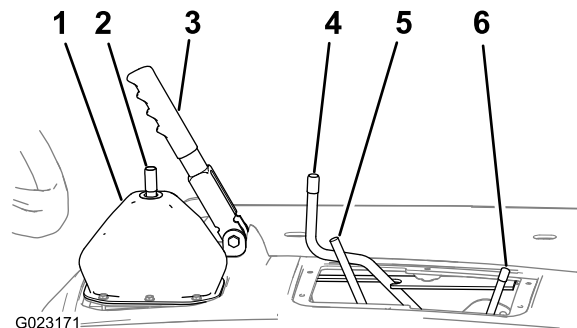


図 11

1. ギアセレクトのカバー
2. ロッド、ギアセクタ
3. 駐車ブレーキ
4. ロッド、デフロク
5. ロッド、油圧荷台昇降
6. ロッド、ハイローレンジ・シフター

2. デフロク用のロッドを前右方向に倒す [図 11](#)。

3. 運転台シュラウドを持ち上げて機体から取り外す 図 12。

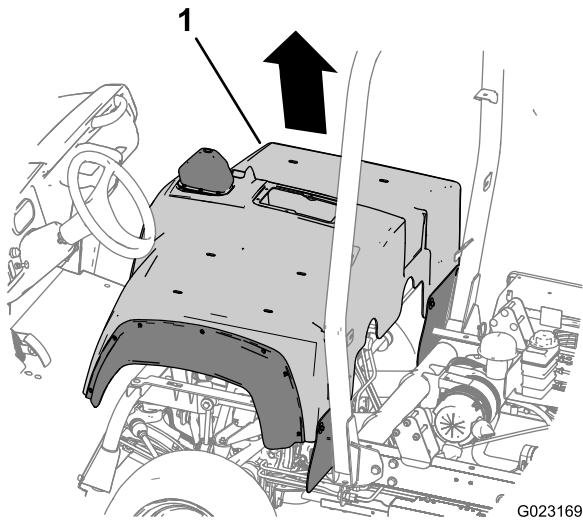


図 12

1. 運転席のシュラウド

5

駐車ブレーキスイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	駐車ブレーキスイッチ
2	ねじ, 六角ワッシャヘッド10-24 x 1/2 インチ

手順

1. ギアセレクトラについている下部ほこり除けカバーが、駐車ブレーキ・アセンブリの左側で邪魔にならないように除ける 図 13。

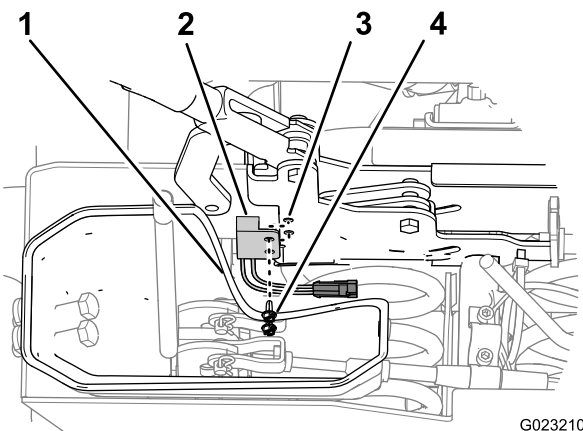


図 13

1. 下部ほこり除けカバー
2. ブレーキスイッチ
3. 駐車ブレーキ
4. 六角ワッシャヘッドねじ

2. 駐車ブレーキスイッチの穴を、駐車ブレーキの左側にある穴にあわせる 図 13。
3. スイッチをブレーキに固定する六角ワッシャヘッドねじ2本を使用する 図 13。

6

リレーを取り付ける。

この作業に必要なパーツ

3	リレー
2	ボルト, 六角ワッシャヘッド1/4 x 5/8 インチ

手順

1. 機体の前面部分に立って、中央サポートブラケットの中央から左に 106 mm を測り取り、また、ダッシュボード支持チューブの下から 12.7 mm を測り取る 図 14。

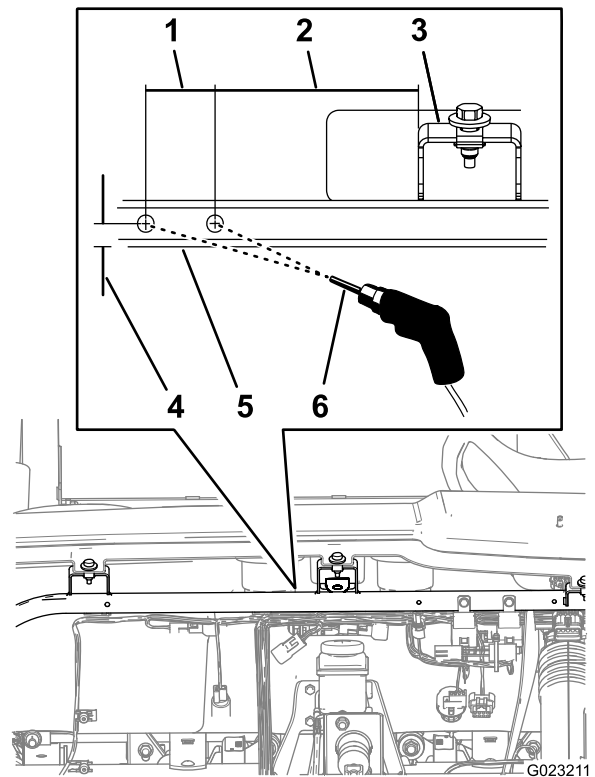


図 14

1. 38.1 mm
2. 106 mm
3. 中央サポートブラケット
4. 12.7 mm
5. ダッシュボード支持チューブ
6. 5 mm のドリルビット

2. 測り取った位置にポンチで印を打つ。
3. 中央のポンチマークから、左に 38.1 mm、およびダッシュボード支持チューブの下から 12.7 mm を測り取る 図 14。

- 測り取った位置にポンチで印を打つ。
- ダッシュボード支持チューブの中央のポンチマークに、ドリルで直径 5.5 mm の穴を開ける [図 14](#)。
- ダッシュボード支持チューブにいま開けたうちの右側の穴に、リレーを固定するボルト 1/4 x 5/8 インチを使用する [図 15](#)。

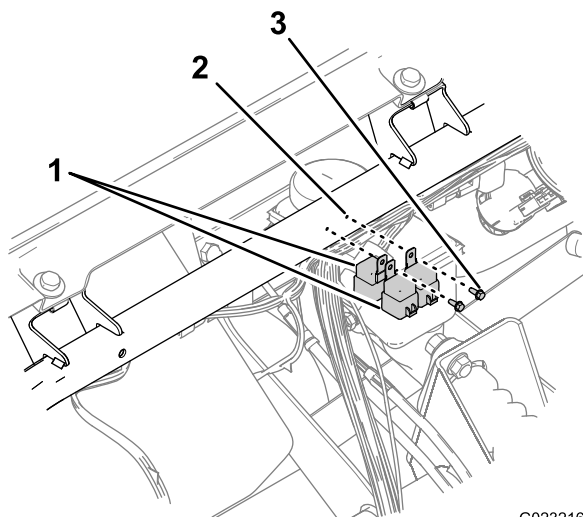


図 15

G023216

- リレー背中合わせに
- ダッシュボード支持チューブ
- ボルト 1/4 x 5/8 インチ

- ふたつのリレーを背中合わせにする [図 15](#)。
- ダッシュボード支持チューブにいま開けたうちの左側の穴に、リレー2個を固定するボルト 1/4 x 5/8 インチを使用する [図 15](#)。

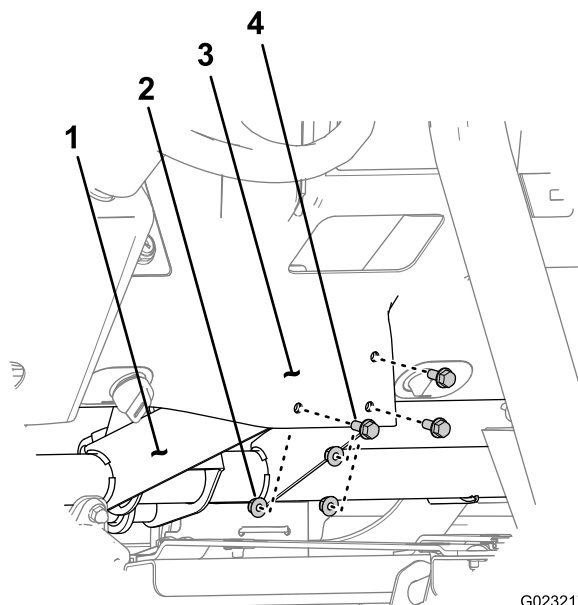


図 16

G023217

- ダッシュサポート
- フランジナット
- ダッシュパネル
- フランジボルト

- ハンドスロットル・ブラケットについている穴 3つを、ダッシュパネルの穴にあわせる [図 17](#)。

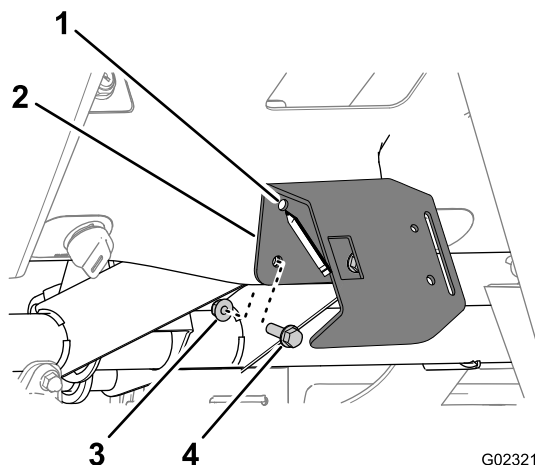


図 17

G023218

- ブラケットの穴
- ハンドスロットル・ブラケット
- フランジナット
- フランジボルト 5/16 x 1 インチ

- ダッシュパネルに、ハンドスロットル・ブラケットを手締めで固定するフランジボルト 5/16 x 1 インチ 3本とフランジナット 3個を使用する [図 17](#)。

7

ハンドスロットル・ブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハンドスロットル・ブラケット
4	フランジボルト 5/16 x 1 インチ
4	フランジナット (5/16 インチ)

ダッシュパネルに穴あけを行う

- ダッシュ支持ブラケットの中央下部分にダッシュパネルを固定しているフランジボルト 3本とフランジナット 3個を外す [図 16](#)。

注 取り外したボルト・ナットは廃棄する。

4. ハンドスロットル・ブラケットの右上についている穴の位置を、ダッシュパネルに写し取る [図 17](#)。
5. ハンドスロットル・ブラケットをダッシュパネルに固定しているボルトとナットをはずして、ブラケットを取り外す。
6. ステップ4でつけたマークの中央位置に、ポンチを打つ [図 18](#)

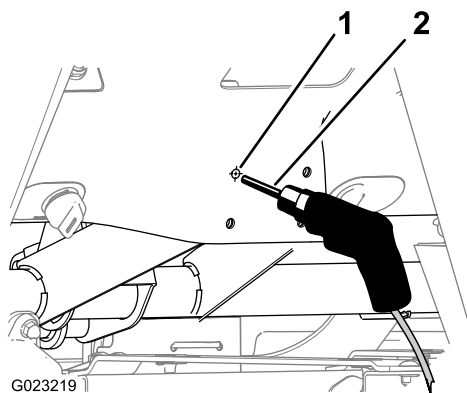


図 18

1. ポンチセンターマーク
2. 8.5 mm のドリルビット

7. このマーク位置にドリルで直径 8.5 cm の穴を開ける [図 18](#)。

注 ダッシュサポートには、この位置に穴が開けてあります。

ハンドスロットル・ブラケットを取り付ける

1. ハンドスロットル・ブラケットについている穴を、ダッシュパネルの穴にあわせる [図 17](#)。
2. ダッシュパネルに、ハンドスロットル・ブラケットを固定するフランジボルト5/16 x 1 インチ4本とフランジナット4個を使用する [図 17](#)。

8

ハンドスロットルとモードスイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハンドスロットル
2	ボルト10-24 x 5/8 インチ
2	ナット, 鋸歯付き10-32
1	モードスイッチ

ハンドスロットルを取り付ける

1. ハンドスロットルのレバーからノブがまだ付いている場合にはを外す [図 19](#)。

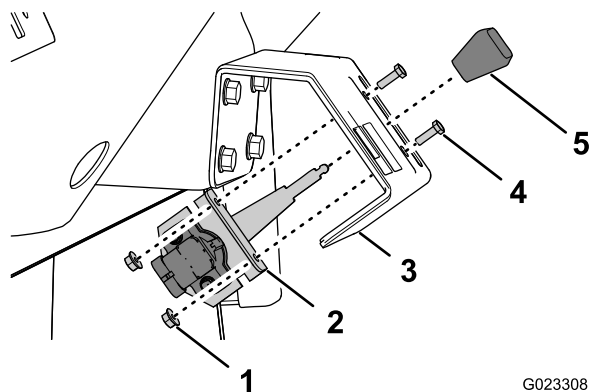


図 19

1. ナット10-24
2. ハンドスロットル・アセンブリ
3. ハンドスロットル・ブラケット
4. ボルト10-24 x 5/8
5. ノブ

2. ハンドスロットルのレバーを、ハンドスロットル・ブラケットのスロットに合わせ、ハンドスロットルに取り付けた取り付けブラケットの穴とハンドスロットル・ブラケットの穴とを整列させる [図 19](#)。
3. ハンドスロットルブラケットを、ハンドスロットル・ブラケットに固定するボルト10 - 32 x 5/8本とナット2個を使用する [図 19](#)。

モードスイッチを取り付ける

1. モードスイッチをハンドスロットル・ブラケットに合わせるコネクタについている整列ピンとスイッチのボディ内部にあるチャンネルを下向きにする [図 20](#)。

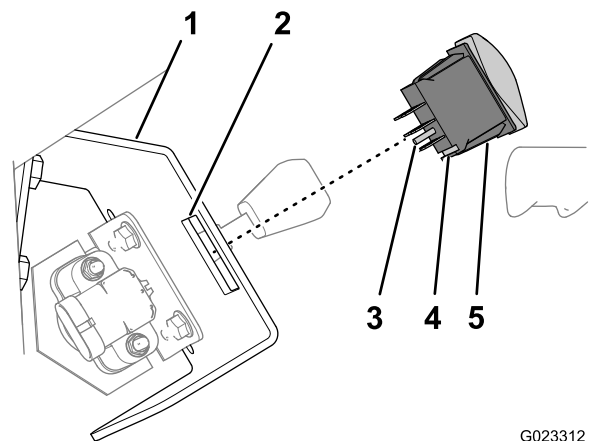


図 20

1. ハンドスロットル・ブラケット
2. 四角い開口部
3. 整列ピン
4. チャンネル
5. モードスイッチ

2. ハンドスロットル・ブラケットについている四角い穴にスイッチをはめ込む [図 20](#)。

9

ワイヤハーネスを取付ける

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
5	ケーブルタイ

メイン・ワイヤハーネスに接続する

1. 車体の前部ヒューズブロックの近くにある、8ピン・8ソケット・コネクタ車両の前および後のワイヤハーネス用のコネクタを探し出す [図 21](#)。

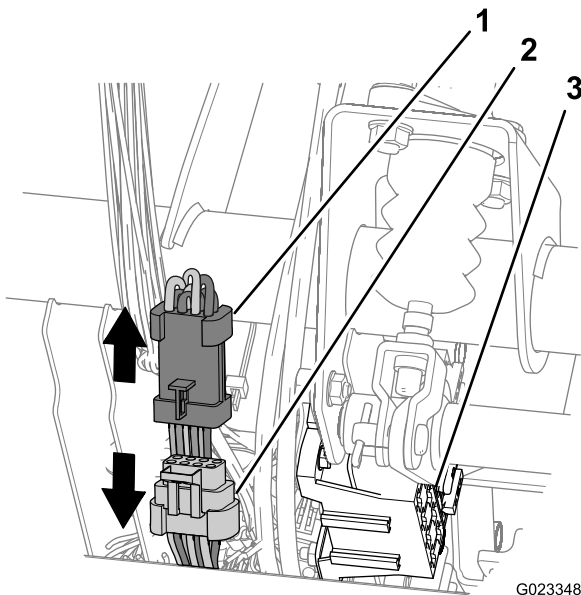
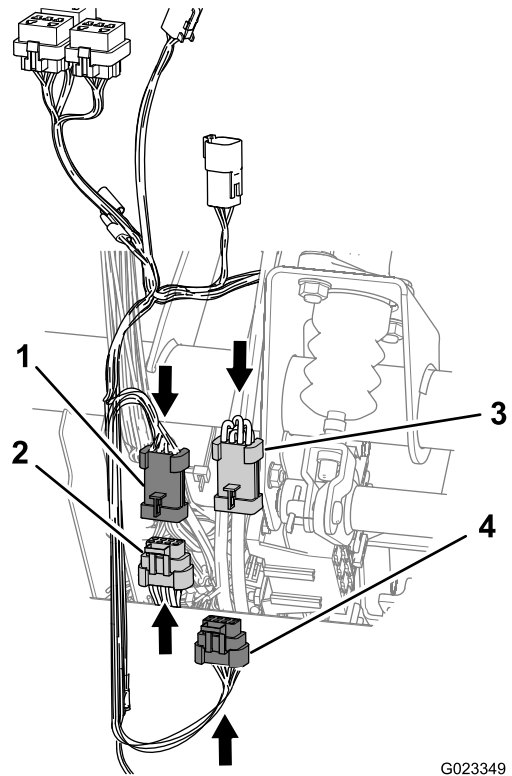


図 21

1. 8ピン・コネクタ後ワイヤハーネス、車両用
2. 8ピン・ソケットコネクタ前ワイヤハーネス、車両用
3. ヒューズブロック

2. 車両の前および後のワイヤハーネス用の8ピン・8ソケット・コネクタの接続を外す [図 21](#)。
3. スロットル・キットのハーネスについている8ピン・8ソケットコネクタを探し出す [図 22](#)。



G023349

図 22

1. 8ピン・コネクタハンドスロットル用ハーネス
2. 8ピン・ソケットコネクタ前ワイヤハーネス、車両用
3. 8ピン・コネクタ後ワイヤハーネス、車両用
4. 8ソケット・コネクタハンドスロットル用ハーネス

4. スロットル・キットのハーネスの8ピン・コネクタを、車両用前ワイヤハーネスの8ソケット・コネクタに接続する [図 22](#)。
5. スロットル・キットのハーネスの8ソケット・コネクタを、車両用後ワイヤハーネスの8ピン・コネクタに接続する [図 22](#)。

ハーネスを敷設してリレーコネクタに接続する

1. ワイヤハーネスのうち、5ソケットコネクタが3つついている枝線 [図 23](#)を、6リレーを取り付ける。(ページ7)で取り付けたりレーのところまで敷設する。

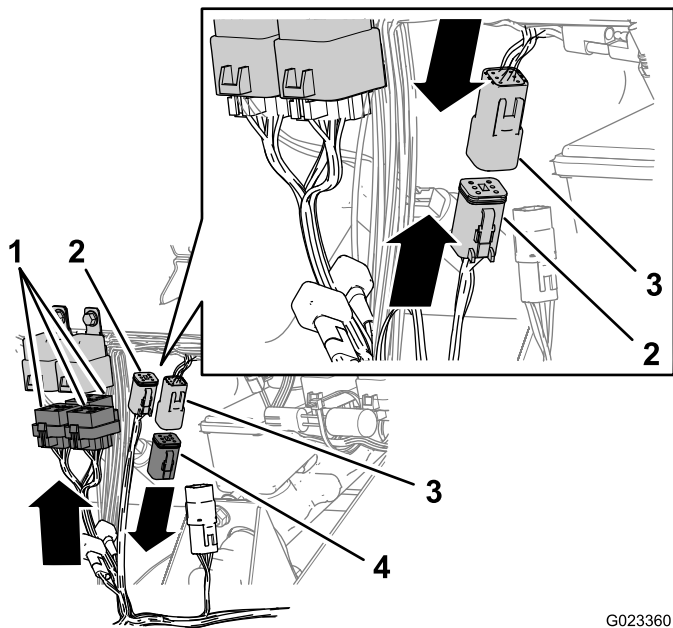


図 23

G023360

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. リレーのコネクタハンドスロットル用ハーネス、5ソケット | 3. ハンドスロットルのプルアップコネクタハンドスロットル用ハーネス、6ソケット |
| 2. ハンドスロットルのプルアップコネクタ車両用ハーネス、6ピン | 4. 抵抗 |

2. 5ソケットコネクタをリレーに接続する 図 23。

注 各リレーと5ソケットコネクタとの位置関係は特に配慮は不要です。

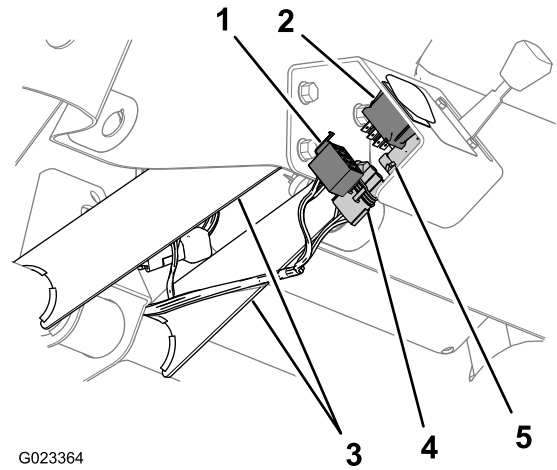
3. ハンドスロットルのアップ回路用6ピンコネクタについている抵抗を外す 図 23。

注 外した抵抗は保管し、ハンドスロットルキットを取り外した場合には、再び元通りに取り付けてください。

4. 車両用ハーネスのハンドスロットル用プルアップ回路用6ピンコネクタを、ハンドスロットルのプルアップ回路用の6ソケットコネクタに接続する 図 23。

ハーネスを敷設してハンドスロットルとモードスイッチを接続する

1. スロットルキットのハーネスの枝線を、ダッシュサポートの2枚の縦フランジの間に通し、そこから後ろに回してハンドスロットルとモードスイッチまで敷設する 図 24。



G023364

図 24

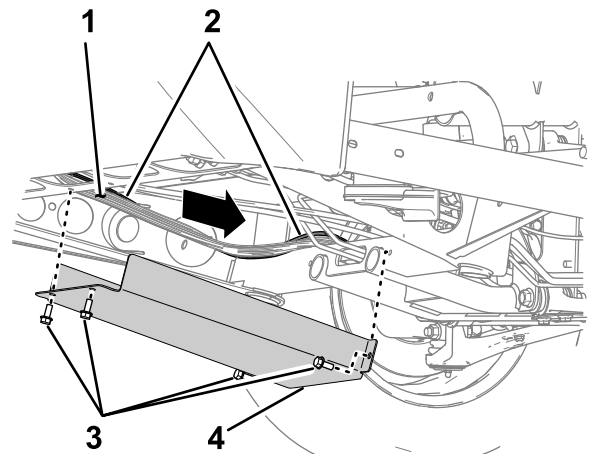
- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 8ソケット・コネクタハンドスロットル用ハーネス | 4. 3ソケット・コネクタハンドスロットル用ハーネス |
| 2. モードスイッチのコネクタ | 5. ハンドスロットルのコネクタ |
| 3. ダッシュサポートのフランジ | |

2. スロットルキットのハーネスの3ソケットコネクタを、ハンドスロットルのコネクタに接続する 図 24。

3. スロットルキットのハーネスの8ソケットコネクタを、モードスイッチのコネクタに接続する 図 24。

ワイヤハーネスを配設する

1. キットのワイヤハーネスの枝線駐車ブレーキスイッチ用2ピンコネクタのついているものを、**メイン・ワイヤハーネスに接続する** (ページ 10) のステップ 4 および 5 で接続したメイン・ハーネスのところから出発して、後ワイヤハーネスに沿って配設する 図 22。
2. 下カバーを車両に固定しているボルト4本を外す 図 25。



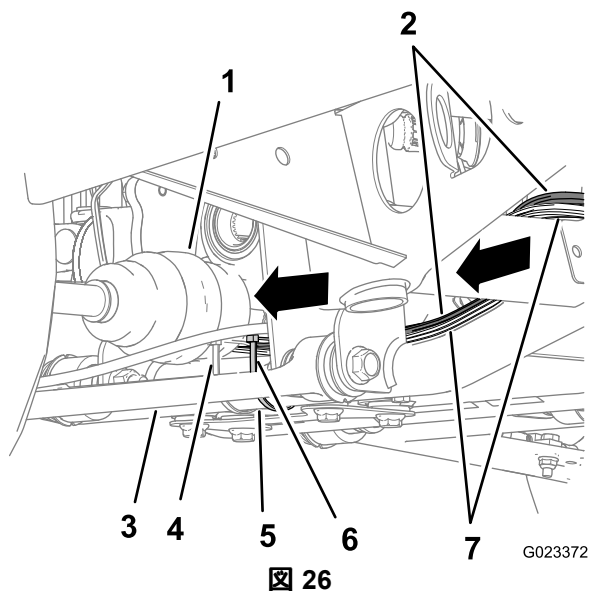
G023365

図 25

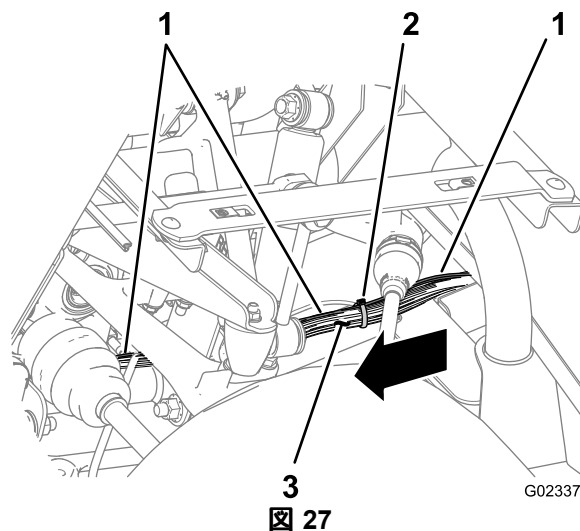
- | | |
|----------------|---------|
| 1. 後メインハーネス車両用 | 3. ボルト |
| 2. ワイヤハーネスキット用 | 4. 下カバー |

3. キットのワイヤハーネスを、車両の後メインハーネスに沿って車両後方へ敷設し、[図 25](#)のように十字チャネル部材のところまで引いてくる。
4. 下カバーを元通りに取り付ける先ほどのステップ2で外したボルト4本を使用する [図 25](#)。
5. キットのワイヤハーネスを、下フレームチューブに沿ってさらに敷設し、上コントロールアームの後ろから立ち上げて運転席の後サポートチャネル鋼まで敷設する [図 26](#)、[図 27](#)、[図 28](#)。

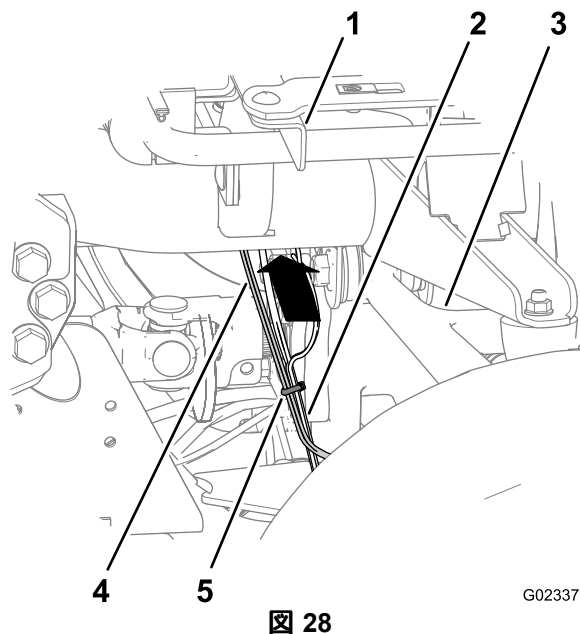
注 キットのワイヤハーネスは、車両の後メインハーネスに沿って配設する。



- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 駆動シャフト4輪駆動モデル | 5. 下フレームチューブ |
| 2. ワイヤハーネスキット用 | 6. ケーブルタイキット |
| 3. 下コントロールアーム | 7. 後メインハーネス車両用 |
| 4. ケーブルタイ製造時のオリジナル | |



- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ワイヤハーネスキット用 | 3. 後メインハーネス車両用 |
| 2. ケーブルタイキット | |



- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. シートサポート用チャネル
リア | 4. ワイヤハーネスキット用
リア |
| 2. 後メインハーネス車両用 | 5. ケーブルタイキット |
| 3. 上コントロールアーム | |

6. キットのワイヤハーネスを、後メインハーネスに固定するケーブルタイを使用して [図 27](#) と [図 28](#) に示すように2ヶ所で縛る。
7. キットのワイヤハーネスを、下フレームチューブに固定するケーブルタイを使用して [図 26](#) に示す位置で縛る。

ハーネスを駐車ブレーキスイッチに接続する

1. キット用ワイヤハーネスのうち、2ピンコネクタがついている枝線を前方へ敷設して、5 駐車ブレーキスイッチを取り付ける (ページ 7) で

取り付けた駐車ブレーキスイッチまで敷設する 図 29。

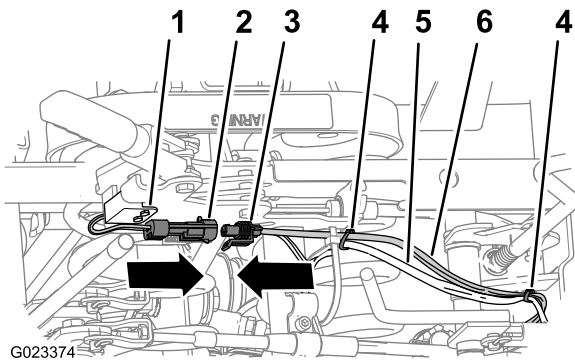


図 29

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 駐車ブレーキスイッチ | 4. ケーブルタイキット |
| 2. 2ピンコネクタ駐車ブレーキスイッチ | 5. 後メインハーネス車両用 |
| 3. 2ピンソケット・コネクタワイヤハーネス、キット用 | 6. ワイヤハーネスキット用 |

2. キットのハーネスの2ソケット・コネクタを、駐車ブレーキスイッチのワイヤハーネスの2ピン・コネクタに接続する 図 29。
3. キットのワイヤハーネスを、後メインハーネスに固定する 図 29に示す場所2ヶ所で固定する。

10

運転席シュラウド、POPSシールド、冷却液タンクを取り付ける

必要なパーツはありません。

運転席シュラウドを取り付ける

1. 運転席のシュラウドの開口部駐車ブレーキ用を、駐車ブレーキのハンドルに合わせる。
2. ギアセレクトカのカバーについている穴を、ギアセレクトカのロッドに合わせる。
3. 運転席のシュラウドの開口部を、荷台昇降レバー用、ハイローレンジセレクトカ用、デフロック用のロッドに合わせる。
4. 運転席シュラウドを降ろす。
5. シュラウドの開口部運転席取り付け用を、シャーシのシートサポート・ブラケットに合わせる。

PTO シールドを取り付ける

1. ROPSシールドの穴を、ROPSバーのブラケットの穴に合わせる 図 10。

2. ROPSバーにROPSシールドを固定する ボルト6本とナット6個 図 10 ROPSパネルを外す (ページ 6)のステップ1で外したものを使用する。

冷却液タンクを取り付ける

1. 冷却液タンクブラケットの左右にあるフランジを、ROPSシールドの冷却液タンクサポートのブラケットに合わせる 図 9。
2. サポートにタンクをセットし、完全に着座させる 図 9。

11

中央コンソールパネルと運転席を取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 座席レールについている穴を、シュラウドの穴 運転席を取り付けたい位置の穴に合わせる 図 8
2. 運転席をシャーシに固定するソケットボルト 8本 図 83 中央コンソールパネルと運転席を外す (ページ 5)のステップ5で外したものを使用する。
3. ソケットヘッドボルトを 20.0-25.5 N·m (175 to 225 in·lb = 2.0-2.6 kg·m)にトルク締めする。
4. 中央コンソールパネルを、中央コンソールのロッドに合わせて置く 図 7。
5. パネルを固定するねじ6本 図 63 中央コンソールパネルと運転席を外す (ページ 5)のステップ4で外したものを使用する。
6. ギアシフトレバーにジャムナットを取り付け、シフトノブを取り付ける 図 6。
7. ノブに書かれているシフトパターンを実際のパターンに合わせて、ジャムナットで固定する。
8. 2のステップ3 中央コンソールパネルと運転席を外す (ページ 5)で取り外したコントロールノブ3個を、それぞれのロッド荷台油圧昇降レバー、デフロックレバー、ハイローレンジ・シフターに取り付ける 図 6。

12

バッテリーを接続する 必要なパーツはありません。

手順

1. バッテリーケーブルプラスをバッテリーに接続する 図 4。
2. バッテリーカバーを握り込んで、タブをバッテリーベースに合わせ、力をゆるめるとカバーがセットされる 図 3。

13

荷台を降下させる 必要なパーツはありません。

手順

荷台を装着していた車両の場合には以下の作業を行う

1. シリンダロッドに取り付けていたサポートを外す 図 2。
2. 荷台サポートをROPS パネルの後ろについている保管用ブラケットに戻す 図 1。
3. 荷台を降ろすオペレーターズマニュアルを参照。

14

フードを取り付ける 必要なパーツはありません。

手順

1. フードの底部を、バンパーの上部に合わせる 図 5。
2. ライトを接続する。
3. 上側の取り付けタブをフレームの穴に差し込む 図 5。
4. バンパーのポケットに、下側の取り付け用タブを差し込む 図 5。
5. フードが上下左右の溝にしっかりはまっていることを確認する 図 5。

15

ハンドスロットル・キットのテストを行う

必要なパーツはありません。

アクセサリ・モードのテスト

1. 平らな場所に駐車する。
2. ハンドスロットルを SLOW 位置に動かす 図 30。

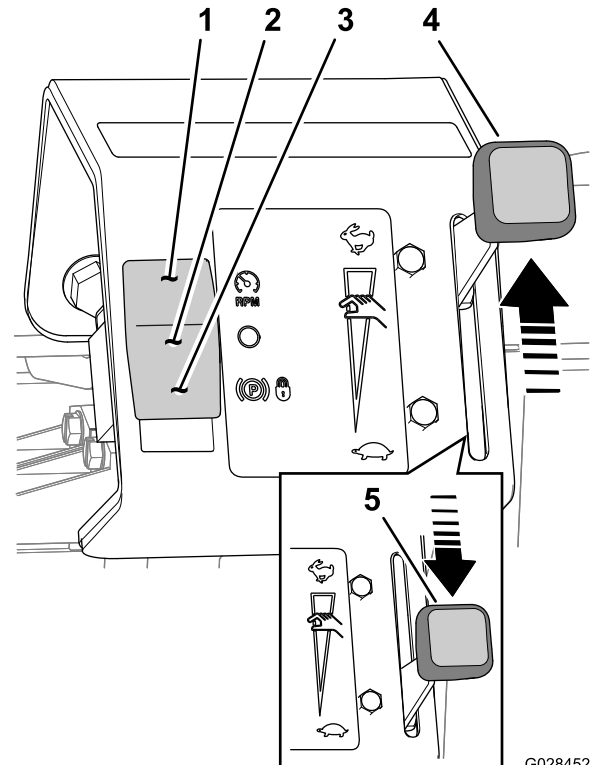


図 30

G028452

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. モードスイッチ 走行速度リミット位置 | 4. ハンドスロットル 高速位置 |
| 2. モードスイッチ OFF 位置 | 5. ハンドスロットル 低速位置 |
| 3. モードスイッチ スロットルロック位置 | |

3. モードスイッチを下スロットルロック位置にセットする 図 30。
 4. 駐車ブレーキをセットし、ギアセレクタをニュートラル位置にセットし、エンジンを始動する。
 5. ハンドスロットルを FAST 方向に動かす 図 30。
- 注** エンジン速度が増加すれば適正である。
6. ハンドスロットルを SLOW 位置に動かす 図 30。
 7. 足でブレーキを踏み込んだ状態で、
 8. 駐車ブレーキを解除する。

9. ハンドスロットルを FAST 方向に動かす [図 30](#)。
注 エンジン速度がアイドルのまま変化しなければ適正である。
10. 駐車ブレーキを掛け、エンジンを止める。

製品の概要

各部の名称と操作

手動スロットル

ハンドスロットルは、モードスイッチと組み合わせて使い、エンジン速度の調整およびエンジン速度を固定するのに使用します [図 31](#)。

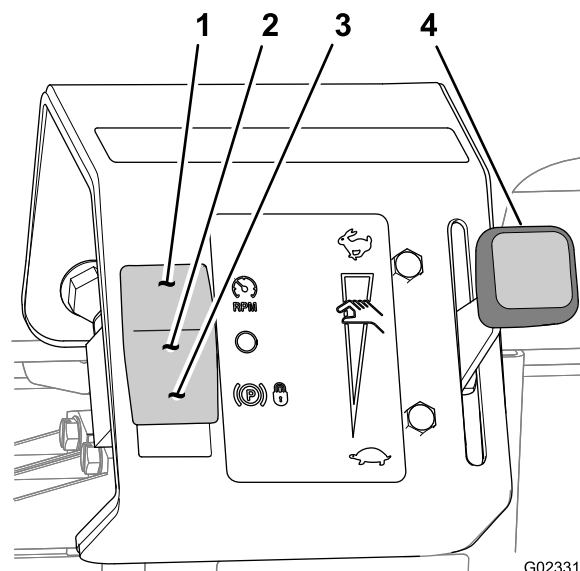


図 31

G023314

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. モードスイッチ走行速度リミット位置 | 3. モードスイッチスロットルロック位置 |
| 2. モードスイッチOFF位置 | 4. ハンドスロットル |

通常走行モードの試験

1. ハンドスロットルを SLOW 位置に動かす [図 30](#)。
2. モードスイッチを上OFF位置にセットする [図 30](#)。
3. 駐車ブレーキをセットし、ギアセレクタをニュートラル位置にセットし、エンジンを始動する。
4. スロットルペダルを少し踏み込む。
注 エンジン速度が増加すれば適正である。
5. スロットルペダルから足を離す。
6. ハンドスロットルを FAST 方向に動かす [図 30](#)。
注 エンジン速度がアイドルのまま変化しなければ適正である。
7. エンジンを停止する。

走行速度リミットモードの試験

1. ハンドスロットルを SLOW 位置に動かす [図 30](#)。
2. モードスイッチを上走行速度リミット位置にセットする [図 30](#)。
3. 駐車ブレーキをセットし、ギアセレクタをニュートラル位置にセットし、エンジンを始動する。
4. スロットルペダルを少し踏み込む。
注 エンジン速度がアイドルのまま変化しなければ適正である。
5. スロットルペダルを踏み込んだ状態で、ハンドスロットルを FAST 方向に動かす [図 30](#)。
注 エンジン速度が増加すれば適正である。

モードスイッチ

モードスイッチ [図 31](#) は、以下の操作にハンドスロットルを使用するときに使います

- **走行速度リミットモード** 位置 散布作業などをする場合に車両を一定の速度で走行させたい場合に使用する位置です。
- **OFF** 位置 車両を普通に使用したい場合のスイッチ位置です。
- **アクセサリモード** 位置 車両を停止させた状態でアクセサリ動力装置を使用するときの位置です。

運転操作

走行速度リミットモードの使用法

エンジンの最高速度の設定を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. ハンドスロットルを SLOW 位置に動かす [図 31](#)。
3. モードスイッチを上走行速度リミット位置にセットする [図 31](#)。
4. ギアセレクトアを希望する走行速度に入れる。
5. スロットルペダルを一杯に踏み込む。
6. ハンドスロットルを FAST 方向に動かして [図 31](#)、希望する速度を出す。
7. スロットルペダルから足を離す。
8. この状態で、定速度作業たとえば目土散布を行う。

注 スロットルペダルを一杯に踏み込めば、設定した最高速度になります。

通常走行モードの使用法

1. 平らな場所に駐車する。
2. ハンドスロットルを SLOW 位置に動かす [図 31](#)。
3. モードスイッチを上OFF位置にセットする [図 31](#)。
4. 通常通りに運転する *オペレーターズマニュアル*を参照。

アクセサリモードの使用法

1. 作業現場へ移動する。
2. ギアセレクトアがニュートラル位置になっていること、および駐車ブレーキが掛かっていることを確認する。
3. モードスイッチを下スロットルロック位置にセットする [図 31](#)。
4. 必要なエンジン速度に合わせてハンドスロットルを適当な位置にセットする [図 31](#)。
5. アクセサリを使用した作業タンク内の薬剤攪拌・ハンドスプレーによる薬剤散布などを行う。
6. ハンドスロットルを SLOW 位置に動かす [図 31](#)。
7. モードスイッチを上OFF位置にセットする [図 31](#)。

故障探究

アクセサリの操作

問題	考えられる原因	対策
アクセサリ・モードで、エンジンをハンドスロットルでコントロールできない。	1. 駐車ブレーキが掛かっていない。 2. 駐車ブレーキスイッチが破損している。	1. 駐車ブレーキを掛ける。 2. 駐車ブレーキスイッチを交換する。
エンジン出力が低すぎてアクセサリが使えない。	1. ハンドスロットルの設定が低すぎる。	1. ハンドスロットルを高速度位置にセットしてエンジン出力を上げる。
エンジン出力が高すぎてアクセサリが使えない。	1. ハンドスロットルの設定が高すぎる。	1. ハンドスロットルを低速度位置にセットしてエンジン出力を上げる。

通常走行モードでの走行

問題	考えられる原因	対策
スロットルペダルを踏み込んでも加速できない。	1. ハンドスロットルの設定が低すぎる。 2. モードスイッチが「走行速度リミット」位置にセットされている。	1. ハンドスロットルをFAST 方向に動かして希望する速度を出せるようにする。 2. モードをOFF 位置にする。
車両の走行速度が予定作業速度よりも遅い。	1. ハンドスロットルの設定が低すぎる。	1. ハンドスロットルを 方向に動かす。
車両の走行速度が予定作業速度よりも速い。	1. ハンドスロットルの設定が高すぎる。	1. ハンドスロットルを SLOW 方向に動かす。

メモ

メモ



Count on it.